

『地域包括的支援体制の構築を目指して』

刑務所や少年院などの矯正施設に収容される人の中に福祉サービスを必要とする高齢・障害のある人が存在していることが明らかになり、地域生活定着支援センターが開所してから9年が経とうとしています。地域包括ケアシステムの中に、矯正施設を退所して直ちに「住まい」「医療」「福祉サービス」を必要とする高齢・障害のある人々を、どのように繋いでいけばよいのでしょうか。

自治体の取組みや支援のあり方について、それぞれ先生方にご講演いただきます。

2018.2.8(木) 12:30~17:00 (参加費無料)

横浜市開港記念会館ホール (定員400名) ※11:30より受付を開始します



基調講演：明石市における更生支援の取組みについて
講師：泉 房穂氏

特別講演：罪を犯した人への支援のあり方
講師：炭谷 茂氏



泉房穂 (いずみふさほ) 氏 明石市長

1963年、兵庫県明石市生まれ。
東京大学教育学部卒業後、NHKディレクターを経て弁護士に。
2003年、衆議院議員に当選。
犯罪被害者等基本法の制定や介護保険法の改正に携わる。
2007年、社会福祉士の資格を取得。
2011年、明石市長に就任。
必要な人に必要な支援が行き届く「誰もが住みやすいまち」を目指して、先進的な施策を展開し、明石市の人口・地価・基金のV字回復を実現。現在2期目。

炭谷茂 (すみたにしげる) 氏 恩賜財団済生会理事長

1946年富山県高岡市生まれ。
1969年東京大学法学部卒業後厚生省(当時)に入る。
厚生省社会・援護局長、環境省官房長等を経て、
2003年7月環境事務次官に就任、2006年9月退任。
現在恩賜財団済生会理事長、日本障害者リハビリテーション協会会長、中国残留孤児援護基金理事長、富山国際大学客員教授、環境福祉学会会長、日本更生保護協会理事等を務める。公務員在職時から一個人として障害者、ホームレス、刑務所出所者等への就労支援、貧困地域のまちづくりに従事している。

18:00~情報交換会「横浜中華街^{キンコウロウ}金香楼」(横浜市中区山下町200)

みなとみらい線元町中華街駅徒歩6分、参加費4,500円(参加費は当日徴収いたします)

会場：横浜市開港記念会館
住所：横浜市中区本町1-6

<会場へのアクセス>

みなとみらい線「日本大通り駅」1番出口徒歩1分
JR京浜東北線根岸線「関内駅」南口 徒歩10分
市営地下鉄線「関内駅」1番出口 徒歩10分



参加ご希望の方は裏面をご記入の上 FAX でお申し込みください

FAX 045-548-6841

E-mail kana-teichaku@kacsw.or.jp

全国地域生活定着支援センター協議会関東甲信越ブロック研修会申込書

都道府県 _____

所属機関名 _____

連絡先（任意） _____

氏名	ふりがな	参加プログラム	
		講演会 2/8	情報交換会 2/8

参加申し込みの締め切りは 2018 年 1 月 31 日(水)となります

※2月6日まで、延長して受付しております。

※ご記入いただいた内容は研修の事務にのみ使用させていただきます

□お問い合わせ□

神奈川県地域生活定着支援センター

電話 045-322-6842

FAX 045-548-6841

E-mail kana-teichaku@kacsw.or.jp